

附属札幌中学校「学校だより」

藤房



北海道教育大学 附属札幌中学校

令和3年9月30日発行

No.7

9月18日(土)に第10回藤華祭が開催され、成功裏に幕を閉じました。昨年度に引き続きコロナ禍での開催となりましたが、経験を生かし、より安心・安全に配慮しながら、精一杯の活動を行うことができました。ここでは、生徒会担当教員と実行委員長の言葉を紹介します。

今しかできないことを

生徒会担当 山下 彩

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウィルス対応で小学校体育館をお借りし、小中体育館2か所同時開催の藤華祭を無事に終えることができました。緊急事態宣言下での開催で、生徒たちも私たち教職員も一抹の不安を抱えつつ、しかし何とかこの行事を成功させたい一心で、対策を取り、距離を取り、心は近付けて準備を進めてまいりました。保護者の皆様にもご心配をおかけしたと思いますが、厚生委員の皆様のバザーの運営を始めとし、衣装や小道具の協力、



【藤華祭シンボルマーク】

YouTube 配信の視聴による応援など、たくさんの温かい支えをいただき大変感謝しております。

成功させました。

学校でも新しい生活様式が求められ、制限される学習活動があって様々な交流の機会が減り、学校行事は規模の縮小や中止を余儀なくされています。そんな中だからこそ、教室だけでは味わえない他者との交流や学校行事がもたらしてくれる、集団が力を合わせて同じ目標に向かって活動する達成感や充実感、仲間意識などの大切さがしみじみと感じられます。藤華委員が中心となり安全な行事の運営に努め、動画の制作・放映で企画を充実させました。マスク着用で挑んだステージプロジェクトは、より繊細な表現で会場に感動を届けました。教室発表も密を避け、接触を避ける工夫で観覧する人たちを楽しませ、鮮やかな装飾が、いつも通りの藤華祭を感じさ



プロジェクト活動に一生懸命取り組み準備をし、当日を笑顔で過ごす生徒たちの姿は、これまでと何ら変わらないものでした。今年度の藤華祭のテーマは 10回目、10代らしく輝くという意味が込められた「teeen」。今このときだからこそ

マスクだけど、黙食だけど、思い切り歓声を上げられないけど、自分が選んだ

せてくれました。D組ではいつも行っていた販売会を直接の販売ができない代わりに、事前にチラシを配付し、見本品を展示するという工夫で売れ行き好調、大

の輝きを今できる形で体現し、やり遂げた生徒たちを誇りに思います。

【垂れ幕】

積み上げてきたもの

藤華祭実行委員長 3年B組 篠宮 瑠那

昨年度に引き続き、多くの制限の中で行われた藤華祭。学校祭や修学旅行などの中止、延期が相次ぐこの状況で、今年も全校で無事に終えられたことが一番の幸せです。様々な場面で支援してくださった先生方、保護者の皆様、本当にありがとうございました。私たち生徒の力だけでは到底なしえなかったと思います。

「teeen」。私たちが第10回藤華祭で掲げたテーマです。10代らしく弾けられるように、そして「e」を三つ連ねて3学年の垣根をこえられるようにという思いが込められています。私たちが大人になったとき「コロナで大変だったけど、あの学校祭は青春だった」と思えるような藤華祭だったと思います。演劇や装飾など校内を見渡せば最近流行したものであふれていて、今までとは少し違った新しい雰囲気でした。ステージA・B・C、オープニング、エンディングプロジェクトは練習の際にも様々な制限がありましたが、一人一人が自分のすべきことを考え真剣に取り組み、笑いあり涙ありの素晴らしい発表となっていました。広報や教室展示、装飾プロジェクトでは「終わらない、終わらない!」と焦りながらも、プロジェクト全員が笑顔で作業をする温かい様子がとても印象的でした。どのプロジェクトも当日までいろいろな経験をして、「積み上げてきたもの」を発揮できていたと思います。

本番にミスなくできた人も、思い通りにできなかった人も「積み上げてきたもの」は変わりません。藤華祭で本当に大切だったのは全校で協力することはもちろん、協力した友達、そして自分自身が「積み上げてきたもの」に気づくことなのではないでしょうか。私はそれが、コロナ禍の不安によって揺れ動く心に光を与えるきっかけになると信じています。



去る8月22日(日)、父親委員会主催の環境整備が行われました。厳しい暑さも去り、穏やかな日差しのもと、 校舎前の草むしりや窓の清掃をしていただき、翌週に控えた学校説明会に向けて玄関前の環境を美しく整えて

いただきました。コロナ禍のため、対面で活動する機会がない中、 初めてお会いする方、久しぶりにお会いする方、それぞれが顔を合 わせての交流で親睦を深めることもできました。このような状況下 にも関わらず参加していただいた皆様、ありがとうございました。

ここでは、父親委員長(PTA副会長)の大坪宏誠様からの言葉 を紹介させていただきます。



私たち父親委員は、子どもたちの活動の場である学校を安心して、安全に利用してもらえるよう環境整備を中心に活動を行っております。しかしながら、この I 年半はコロナにより子どもたちも学校生活を通常通り送れないように、私たち父親委員会の活動も制限されています。そんな中ではありますが、今年度の父親委員への登録者数は過去最高の90名となり、附属札幌中学校での父親委員会が認知されてきたことを実感しております。今後は環境整備だけではなく、このコロナ禍でも父親委員が活躍できる活動を企画し、子どもたちや学校へ奉仕活動をしていきたいと考えております。PTA の皆様や教職員の皆様も父親委員会で行ってほしいことがありましたら、遠慮なくご要望ください。90名の父親のパワーがあれば何でもできると思っております。今後も父親委員会の活動にご理解とご協力をいただければ幸いです。父親委員会をどうぞよろしくお願いいたします。

■図書カード寄贈のご報告

本校第23期卒業生の松田 晃(まつだ あきら)様と竹田 勝男(たけだ かつお)様から毎年、図書カードを寄贈していただいております。今年度も松田様が来校され、図書カードを寄贈してくださいました。ニューヨークにお住まいの竹田様はコロナ禍のため昨年同様、来校は叶いませんでしたが、その思いをありがたく受け取りたいと思います。

今後は、図書局のみなさんを中心に、素敵な本を選んで購入していだきます。多くの書籍に触れ、見方や考え方を広げ、豊かな人生を歩んでほしいとというお二人のお気持ちに感謝し、より多くの読書に挑戦してください。図書館には、素敵は本との出会いが待っています。



☆祝・東京2020パラリンピック出場☆

本校卒業生の宮崎哲(みやざきさとる)さんが、リオパラリンピックに続き、東京パラリンピックにも出場しました。水泳男子 200m自由形(知的)で組5位の成績を収めました。本人からのメッセージをふじのめ学級に掲示しております。ぜひ、ご覧ください。

10月の行事予定

日(曜日)	行事等の予定	下校バス時刻(予定)
l (金)	後期委員選出	16:20
2(土)	部活動可	
3(日)	部活動可	
4(月)	前期期末懇談① 委員会·専門局会(三役選出)	14:10
5(火)	前期期末懇談② 内科検診(3年)	14:10
6(水)	前期期末懇談③ 数学科公開授業研究会(午前)	14:10
7(木)	前期期末懇談④ 国語科公開授業研究会(午前)	14:10
8(金)	放) 承認式リハーサル	16:20
9(土)	部活動可	
10(日)	部活動可	
11(月)	【職員会議】 後期役員·委員承認式 委員会·専門局会	15:20
12(火)	【研究日】 内科検診(年+D組) 年リサーチタイム 2年フィールドワーク	16:20
13(水)	札教研事業(秋の研究集会) 避難訓練 簡易給食	13:10
14(木)	2年フィールドワーク 3年学カテストB	16:20
15(金)	I 年リサーチタイム	16:20
16(土)	部活動可 数学検定(午前)	
17(日)	部活動可	
18(月)	内科検診(2年)	16:20
19(火)	【研究日】	16:20
20(水)	2年宿泊学習結団式 2年後期中間テスト範囲表配付 3時間後給食	【2年】15:00 【1·3年】16:20
21(木)	2年宿泊学習	16:20
22(金)	2年宿泊学習 I・3年後期中間テスト範囲発表 教育実践研究実習開始	16:20
23(土)	部活動可 漢字検定(午前)	
24(日)	部活動可	
25(月)	2年臨時休業日	16:20
26(火)	宿泊学習解団式 3年進路説明会·学年懇談会	【3年】14:10 【1·2年】16:20
27(水)	眼科検診(年)	16:20
28(木)		16:20
29(金)		16:20
30(土)	部活動可	
31(日)	部活動可	